

官民協働海外留学支援制度
～トビタテ！留学 JAPAN 新・日本代表プログラム(第 11 期)～

【拠点形成支援事業】

京の高校生「海外探Q留学」応援事業（第 1 期）
2026 年度チーム応募の手引き

2026年1月

京の高校生「海外探Q留学」推進協議会

内容

はじめに.....	3
1. チーム応募の概要	3
2. チームの定義	3
3. 求める人材像.....	3
4. 支援予定人数.....	4
5. 応募方法.....	6
6. 選考・審査.....	8
7. スケジュール.....	9
8. 受験上の配慮申請について	10
9. 採用決定後の留学計画等の変更.....	10
10. その他.....	11

はじめに

2026 年度(第 11 期)官民協働海外留学支援制度拠点形成支援事業『京の高校生「海外探Q留学」応援事業』では、京の高校生探究コースのみ、チームで応募することが可能です。以下にチーム応募に関する要件・手続きを記載します。

チーム応募の場合でも、派遣留学生及び在籍高校等に求められることや派遣留学生及び在籍高校等が守るべきことは本事業の第 11 期募集要項に記載されている事項と同様です。申請をするにあたっては、本事業の第11期募集要項を熟読し、特に、「6. 支援内容」「7. 要件」「12. 派遣留学生の義務及び採用決定後の手続き等」については、必ず参照してください。

1. チーム応募の概要

最大6人まででチームを組み、地域の特長を踏まえ、自らの興味・関心から発見された地域特有の課題解決や地域貢献につながるテーマを海外で探究する応募形式です。チームで力を合わせ、自由な発想力と創造力をもって、地域課題の解決に向けて探究をすることができます。既に他の大会やコンテストで受賞等した取組であっても、より成長を目指す内容等であれば、応募することは可能です。

2. チームの定義

以下に示す定義は、本事業の第11期募集要項の「7. 要件」を踏まえたものとなります。

チーム	最大6人までの生徒等の集まり。学年・性別・渡航先等について制限はありません(渡航先、期間はチームメンバー全員が同じでなくても可)。応募申請後のメンバーの変更(入れ替え、追加)はできません。途中でメンバーが抜けることにより人数が2人に満たない場合は参加継続ができないことになるので注意してください。ただし、やむを得ない場合は京の高校生「海外探Q留学」推進協議会事務局に相談してください。
-----	--

3. 求める人材像

チーム応募では、本事業の第11期募集要項の「4. 求める人材像」に加え、次のような人材を派遣留学生として求めます。

- (1) チームメンバー同士で協働できる人材
- (2) チームの中で個人の目標を持ち、主体的に参画する人材
- (3) 相互扶助の精神を持つ人材
- (4) チームでの学びを地域に活かせる人材

4. 支援予定人数

コース	2026 年度支援予定人数			支援する留学計画
		第一日程 (新高校2・3年生)	第二日程 (新高校1年生)	
京の高校生 探究コース (チーム応募)	80人	56人	24人	(A)文化・歴史・観光(B)環境・自然 (C)産業・メディア(D)健康・安全 (E)未来・挑戦から1つ、または複数 選定して、テーマを定め、京都の地 域課題の解決や地域の魅力の再発 見に繋がる探究活動が含まれた留 学計画

※1 支援予定人数は、個人応募、チーム応募を含めた人数です。

※2 採用人数は応募状況等により変動する場合があります。

※3 新高校2・3年生は「第一日程」に、新高校1年生は「第二日程」に応募してください。詳細は本事業の第11期募集要項の「8.応募方法」「9.選考・審査」「10.スケジュール」を参照してください。

※4 学年の異なるメンバーでチームを組み、メンバーが新高校2・3年生のみからなるチームの場合は「第一日程」に、メンバーに新高校1年生が含まれるチームを組む場合は、第二日程に応募をしてください。

※5 「京都府家計基準表」に定める家計基準(以下「府家計基準」という)を満たす生徒等は55名まで優先的に採用します(本事業の第11期募集要項のp16「機構家計基準及び府家計基準の判定方法」及び p17「府家計基準判定表」参照)。

【チーム応募の留学計画の例】

コース	留学計画の例
京の高校生 探究コース (チーム応募)	<p>次の5つのテーマのうち、1つまたは複数選定して、いずれかのテーマに関係した探究課題を設定し、海外において探究活動を行うこと。</p> <p>(A)文化・歴史・観光</p> <p>問い「京都のオーバーツーリズムへの効果的な対応策は何か？」</p> <p>活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外の有名な観光地で地元住民や観光客にオーバーツーリズムについてインタビュー調査を行う。 ・観光地で観光産業に携わる方や自治体を訪問し、観光資源を活用しながらも、地元住民と共存するための課題と対応策を調査し、その方策を探究する。 <p>(B)環境・自然</p> <p>問い「京都北部の海岸に漂着するゴミや海洋生物が誤食するゴミを減らすには？」</p> <p>活動内容</p>

- ・海洋ゴミの問題を研究している海外の大学を訪問し、海洋ゴミの量や種類、ゴミが生物に与える影響等について学ぶ。
- ・現地でのボランティア活動を通じてフィールドワークで海洋ゴミの現状を学び、解決に向けた方策を探究する。

(C)産業・メディア

問い「京都のものづくり文化は、世界で活躍する企業にどのような影響を与えているか？」

活動内容

- ・海外で活躍する京都に関連のある企業を訪問し、現地担当者にインタビューして、どのような部分に京都の価値観や技術が生かされているかを調査する。
- ・現地の住民に対してアンケートやヒアリングを行い、京都らしさや文化的要素への評価を分析し、企業の戦略との関係性を探究する。

問い「京都で制作される時代劇は、海外でどのように受け入れられ、文化的価値を発信しているのか？」

活動内容

- ・海外の映画祭や配信プラットフォームで、日本の時代劇作品がどのように紹介されているか、時代劇の影響やリメイク事例を調査。
- ・現地の視聴者や映画関係者にインタビューし、時代劇に感じる魅力や文化的背景への関心を分析する。

(D)健康・安全

問い「京都での大災害発生に対応できる自主防災組織とは？」

活動内容

- ・海外の防災先進都市を訪問し、地域住民主体の防災組織の仕組みや活動内容を調査する。
- ・現地の防災訓練やコミュニティ活動に参加し、京都の自主防災組織に応用できる「住民参加型の防災モデル」を探究し、提案する。

(E)未来・挑戦

問い「京都から、世界で活躍するサッカー選手を輩出するのに有効なプログラムとは？」

活動内容

- ・海外のサッカー強豪国で育成クラブやアカデミーを訪問し、選手育成の仕組みやトレーニング方法を調査する。
- ・現地の指導者や選手にインタビューし、技術面だけでなくメンタル・文化・教育面での育成要素を分析し、京都の育成環境に取り入れる方法を考える。

○複数のテーマを選択した場合

	<p>(A)文化・歴史・観光+(C)産業</p> <p>問い「京都のアニメ文化とアニメ産業は、海外でどのように評価され、発信されているのか？」</p> <p>活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外のアニメイベントやポップカルチャーの拠点(例:アニメコンベンション、専門ショップ)を訪問し、京都発のアニメ作品や関連グッズがどのように紹介されているかを調査。現地ファンや販売スタッフにインタビューし、評価されるポイントや文化的背景への関心を分析する。 ・京都のアニメ制作会社や伝統工芸とコラボする企業を訪問し、海外展開において重視している要素(品質、ストーリーテリング、文化性)をヒアリング。さらに、現地での販売戦略やブランド構築の工夫を探究し、京都ならではの強みを整理する。
--	--

5. 応募方法

(1)応募申請に関する注意点

- 応募者及び在籍高校等は、本事業の第11期募集要項及び本チーム応募の手引きを熟読の上、応募申請を行ってください。
- 応募を希望するチームメンバーの生徒等(以下「応募者」という。)は、チーム名を決めた上で、**必ず在籍高校等を通して、全員で応募申請を行ってください。代表者1名による応募申請はできません。また、在籍高校等を通さずに個人で応募申請することはできません。応募の可否について、在籍高校等(又は入学予定の高校等)に必ず確認してください。**
- 応募後に転学することが決定している場合であっても、応募申請は応募時の在籍高校等を通じて行ってください。なお、転学先の在籍高校等が京都府内であること等、応募者は要件の確認をしてください。
- 応募する留学計画はチームメンバーが在籍する、在籍高校等の長が教育上有益な学修活動と認める必要があります。**留学計画の作成は、在籍高校等(又は入学予定の高校等)の担当者と相談の上で行ってください。**
- 新高校2・3年生と新高校1年生は、応募の時期が異なります。詳細は、本チーム応募の手引き「6. 選考・審査」及び「7. スケジュール」を参照してください。
- **いかなる理由であっても応募申請期限を過ぎた場合は申請を受け付けません。在籍高校等は、応募者から在籍高校等への提出期限を応募者に周知すると共に、在籍高校等から本協議会への応募申請期限を厳守してください。**
- **応募申請期限後の選考期間中は、応募書類の差替えや訂正は一切認められません。**面接審査受験時に留学計画の変更や訂正を申し出ることは可能ですが、申し出たことをもって変更や訂正が受理されることはありません。必ず採用後に留学計画の変更申請を行い、承認を得る必要があります。

<在籍高校等の役割について>

本事業は、**応募～採用後の全手続きについて、在籍高校等を通して行います。**応募者がいる高校等は、本事業の第11期募集要項の「7. 要件(3)在籍高校等の要件」に掲げる体制を整備すると共に、本事業の第11期募集要項及び本チーム応募の手引きをはじめ、本協議会が作成する各手引きに記載の事項について理解した上で手続きを行う必要があります。

(2)応募方法

応募者

以下の書類①②③を在籍高校等に提出してください。

- ① 2026年度(第11期)【拠点形成支援事業】京の高校生「海外探Q留学」応援事業チーム応募留学計画書(様式2)

※1 以下のURLから、様式2をダウンロードして作成してください。

URL: https://www.kyoto-be.ne.jp/kyoikukyoso/cms/?page_id=523

※2 電子媒体で在籍高校等に提出してください。

※3 応募書類は日本語で作成してください。

※4 応募書類に不足や記入漏れ等の不備がある際は、審査の対象とならない場合があります。

- ② 自己PR(様式2の6-3 参照)

- ③ 生計維持者の課税証明書

※在籍高校等担当者に家計基準の判定を依頼してください。証明書の詳細は本事業の第11期募集要項の「7. 要件(1)派遣留学生の要件」の⑤を確認してください。

- ④ 課税証明書内訳等確認書(様式5)

※ 以下のURLから、様式5をダウンロードして作成してください。

URL: https://www.kyoto-be.ne.jp/kyoikukyoso/cms/?page_id=523

在籍高校担当者

- ① 応募を希望する生徒等の生計維持者の課税証明書及び課税証明書内訳等確認書(様式5)で家計基準の判定を行い、家計基準判定結果を様式2に記入してください。なお、判定のための「家計基準判定ツール(高校第11期応募用)」は別途各校に送付する文書に記載のURLからダウンロードしてください。

- ② 以下のURLから、様式3、4をダウンロードして作成してください。

URL: https://www.kyoto-be.ne.jp/kyoikukyoso/cms/?page_id=523

※申請書(様式3)は学校ごとに作成してください。

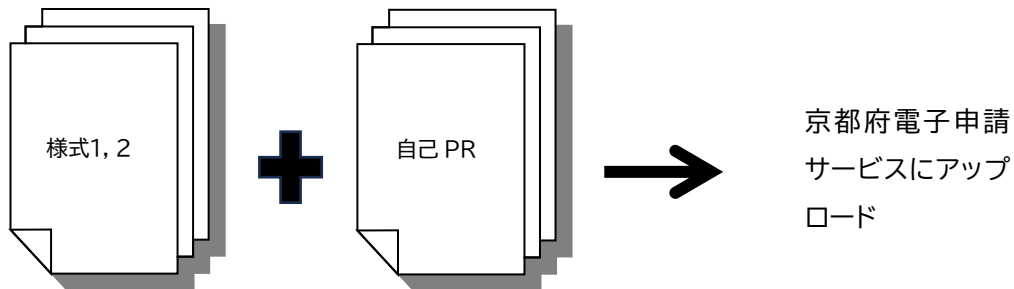
※学校確認リスト(様式4)は応募者ごとに作成してください。

- ③ 「学校コード」は、大学入試センターが提供する「[高等学校等コード表](#)」に記載の「学校コード」を参照してください。

- ④ 学校確認リスト(様式4)を用いて応募書類を確認の上、別途各校に送付する文書に記載の URL から京都府電子申請サービスを利用して、学校担当者情報及び応募者情報を入力し、留学計画書(様式1または様式2)、自己 PR をアップロードしてください。1回の手続により、応募者最大5名まで、入力・アップロードできます。

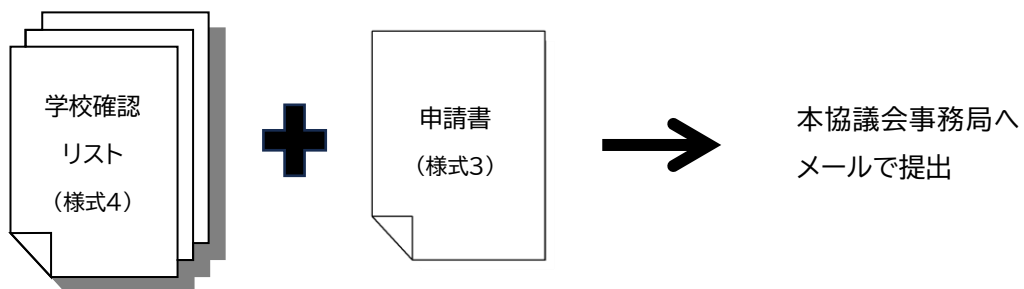
6名以上の場合は、複数回に分けて入力・アップロードしてください。

<応募者作成書類>



- ⑤ 学校確認リスト(様式4)及び申請書(様式3)は本協議会事務局にメール添付により提出してください。提出先メールアドレスは、別途各校に送付する文書に記載しています。

<在籍高校等作成書類>



(3) 応募申請期限

【応募者から在籍高校等への提出期限】

各在籍高校等が設定します。在籍高校等の指示に従ってください。

【在籍高校等から本協議会への応募申請期限】

在籍高校等は、本協議会へ応募申請する前に留学計画の内容確認を行い、応募に必要なすべての書類を「7.スケジュール」に記載されている提出期限までに提出してください。校内の提出期限は余裕をもって設定してください。また、必ず応募者に提出期限を周知してください。

6. 選考・審査

(1) 選考の流れ

新高校2・3年生のみからなるチームの場合は「第一日程」、新高校1年生を含むチームの場合は「第二日程」で応募してください。

※ 「第一日程」と「第二日程」の両方に応募することはできません。



※ 全ての応募チームが面接を受験する総合審査を行います。

(2) 審査の観点

チーム応募では、本事業の第 11 期募集要項の「9.選考・審査(2)審査の観点」に加え、「人物」と「計画」と「チームワーク」の3つの観点から審査します。

(ア) 人物(求める人材)

- 本チーム応募の手引き「3. 求める人材像」で示したような人材であるか。

(イ) 計画(留学計画の内容)

- チームの目的や学びたいことが明確な計画であるか、応募理由が明確であるか
- チームの目的を達成させるために適切な「留学先」「期間」「探究活動内容」であるか
- 今回の留学で得た成果を京都府にどのような形で還元しようと考えているか

(ウ) チームワーク

- 個人が主体性を持ってチームに参加しているか
- 互いの成長を望めるチームか
- 相互理解・相互支援・相互成長できるチームか

(3) 選考、審査及び採否結果にかかる注意事項

- 選考、審査にかかる問い合わせ及び採否結果の理由については一切お答えできません。
- 選考期間中は、応募書類の差替えや訂正は一切認められません。

7. スケジュール

新高校2・3年生のみからなるメンバーでチームを組む場合は「第一日程」で応募してください。「第二日程」で応募することはできません。

新高校1年生を含むメンバーでチームを組む場合は「第二日程」で応募してください。

	第一日程 (新高校2・3年生のみ)	第二日程 (新高校1年生を含む)
応募者から在籍高校等への 応募申請提出期間	在籍高校等(又は入学予定の高校等)が指定する期間	
在籍高校等から本協議会への 応募申請開始時期	1月29日(木)	4月10日(金)
在籍高校等から本協議会への 応募申請期限	3月27日(金)	4月21日(火)
総合審査	4月25日(土)・26日(日)	5月10日(日)

採否結果通知	5月下旬予定	
採用者の手続き	採用決定後に詳細を通知します。	
新・日本代表プログラム壮行会(参加任意) ※機構主催	<東京> 6月14日(日)午前	<大阪> 6月20日(土)午前
新・日本代表プログラム事前研修(参加必須) ※機構主催	<東京> 6月14日(日)午後	<大阪> 6月20日(土)午後 6月21日(日)午後 ※推奨参加日は6月20日、21日(大阪会場)です。
【京の高校生「海外探Q留学」応援事業】壮行会・事前オリエンテーション(参加必須)	6月13日(土)	
【京の高校生「海外探Q留学」応援事業】事前オリエンテーション(参加必須)	6月13日(土)	
留学期間	2026年7月10日(金)～2027年1月15日(金)まで	
新・日本代表プログラム事後研修(参加必須) ※機構主催	2026年秋以降順次	
【京の高校生「海外探Q留学」応援事業】事後オリエンテーション(参加必須)	2027年1月下旬(予定)	
【京の高校生「海外探Q留学」応援事業】報告会(参加必須)	2027年2月(予定)	

※1 応募状況によっては、総合審査の日程及び会場が変更になることがあります。

※2 総合審査は対面での実施を予定しています。指定された日時及び会場は原則として変更できませんので、ご注意ください。なお、交通費は応募者の自己負担です。

※3 事前・事後の研修・オリエンテーション及び本協議会主催の壮行会・報告会は参加が必須です。必ず参加できるよう準備してください。

8. 受験上の配慮申請について

身体等に障害があり、総合審査を受験するにあたり配慮が必要となる場合は、その種類・程度に応じた配慮を行いますので、事前に在籍高校等を通じて本協議会に相談してください。

9. 採用決定後の留学計画等の変更

採用後にチームとして又はチームメンバーの留学時期や受入先機関等に変更が生じた場合、速やかに留学計画の変更申請の手続きを行う必要があります。メンバーの変更(入れ替え、追加)はできません。

留学計画の変更内容によっては、選考委員による再審査を行います。再審査の結果、変更が承認されない場合や、奨学金の支給を終了する場合があります。また、再審査には回数の制限(原則2回)がありますので、応募の段階から熟慮のうえ留学計画を作成し、申請してください。

10. その他

チーム応募の場合でも、派遣留学生及び在籍高校等に求められることや派遣留学生及び在籍高校等が守るべきことは本事業の第 11 期募集要項に記載されている事項と同様です。本事業の第 11 期募集要項を充分に確認してください。